

平成28年度 保護者の学校自己評価の結果(17/22)

gakkou

	NO	評 価 項 目	H28平均値	H27平均値	評価基準値
I 教育目標	1	学校の教育目標や学校経営計画、行事について、PTA総会などで説明を受けていますか。	3.5	3.6	2.5
	2	学校に対する考え方や要望をPTA総会などで聞かれたり、話し合ったりしていますか。	3.6	3.5	2.5
II 教育課程・学習活動	3	学校の教育課程、時間割や年間計画について、学部懇談会などで説明を受けていますか。	3.8	3.6	2.5
	4	お子さんが今何を学習しているか知っていますか。	3.4	3.4	2.5
	5	課程別学習などの多様な授業形態は、お子さんにとって適切な学習となっていますか。	3.7	3.3	2.5
	6	学校の授業参観に参加して、お子さんの様子を見ていますか。	3.2	3.4	2.5
	7	家庭での学習や過ごし方についてお子さんや家族と話し合っていますか。	3.2	3.1	2.5
III 生徒理解・進路	8	教師と児童生徒の間には信頼関係ができており、児童生徒一人一人の能力や特性が十分に伸ばされていますか。	3.6	3.6	2.5
	9	何か悩んだり困ったりしたときに、気軽に相談できる教師がいますか。	3.5	3.4	2.5
	10	教師はお子さんが困っているとき、相談にのったり、支援の手を差し伸べてくれますか。	3.7	3.6	2.5
	11	学校内にカウンセリングの体制があり、相談に乗ってくれることを知っていますか。	3.7	3.9	2.5
	12	進路講演会は適切な進路選択にむけて有効な企画になっていますか。	3.2	3.5	2.5
	13	施設見学会は将来の進路につながるように適切に企画されていると思いますか。	3.4	3.5	2.5
IV 健康・安全	14	学校は、お子さんが学校内で不測の事態にあつたことのないよう安全管理をきちんとしていると思いますか。	3.4	3.3	2.5
	15	体調が急に悪くなったり、ケガをして急を要するとき、学校は適切に対処していると思いますか。	3.7	3.6	2.5
	16	お子さんは朝元気に登校していますか。	3.7	3.6	2.5
	17	お子さんの学校でのようすを知ることができますか。	3.5	3.5	2.5
V 施設・設備他	18	学校の施設・設備は充実していると思いますか。	3.2	3.0	2.5
	19	学校は、個人情報の管理をしっかりと行っていると思いますか。	3.5	3.5	2.5
VI その他	20	学校はいじめの問題に対する取組方針を保護者のみなさんと共有していると思いますか。	2.6	3.6	2.5
寄宿舎生 保護者	21	寄宿舎生活はお子さんにとり有意義なものになっていると思いますか。	3.4	3.3	2.5
	22	寄宿舎の施設・設備は充実していますか。	2.4	2.9	2.5
	23	寄宿舎の行事はお子さんにとって、楽しいものになっていますか。	3.3	3.1	2.5
	24	寄宿舎指導員とは話しやすい雰囲気になっていますか。	3.0	2.5	2.5

平成28年度 児童生徒の学校自己評価の結果

No		評価項目	小学部	中学部	普通科	専攻科	平均	評価基準値
1	小	学校で、先生はみんなの話をよく聞いてくれますか。	4.0	4.0	3.7	2.8	3.6	2.5
	中普 専	学校は、みなさんの学校に対する意見や希望を聞く機会をつくってくれていますか。						
2	小	学校でもっと勉強したいですか。	3.3	3.8	3.7	3.1	3.5	2.5
	中普 専	授業日数や1日の授業時数に満足していますか。						
3	小	学校の授業は分かりやすいですか。	3.7	4.0	3.8	3.2	3.7	2.5
	中普 専	学校は、分かりやすい授業をしていますか。 学校は、分かりやすい授業を計画し、実施していますか。						
4	小	先生はみんなの質問に丁寧に答えてくれますか。	4.0	3.8	3.8	3.3	3.7	2.5
	中普 専	学校は、学習した内容が確実に身につくよう、分からないことは納得するまで教えてくれますか。						
5	小	困ったことがあったとき、先生たちは助けてくれますか。	4.0	4.0	3.8	3.0	3.7	2.5
	中普 専	あなたが日常生活で困ったとき、先生方は親身になって相談に乗ってくれますか。 あなたが日常生活で困ったとき、先生方は親身になってくれますか。						
6	小	学校へは、毎日元気でを行っていますか。	4.0	3.8	3.7	2.6	3.5	2.5
	中普 専	学校へは毎日、元気に行っていますか。 学校へは毎日元気に行っていますか。						
7	小	がんばれた行事はありましたか。	4.0	4.0	4.0	3.4	3.9	2.5
	中普 専	自分が参加できる行事はありますか。						
8	小	学校ではみんなと楽しく勉強したり遊んだりしていますか。	4.0	3.8	3.7	3.3	3.7	2.5
	中普 専	あなたの学部や学年は、協力して行事等への参加をしていますか。 あなたの学部や学年は、行事等への取組に協力していますか。						
9	小	自分の将来のことを考えたことがありますか。	2.7	3.8	3.8	3.1	3.4	2.5
	中普 専	進路について考えるとき、先生方は必要な情報を教えてくれますか。 将来のことについて考えるとき、先生は多くの情報を与えてくれますか。						
10	小	こんなものが学校にあったらいいなと思うものはありますか。	2.7	3.5	3.8	2.8	3.2	2.5
	中普 専	学校には、学習に必要な設備が整っていますか。						
11	小	学校の様子を家の人やとどちに話しますか。	3.3	3.8	3.3	2.7	3.3	2.5
	中普 専	学校の様子を家の人や友人に話しますか。 学校の様子を身内や友人に話しますか。						
12	小	学校のいいところをほかの人に言えますか。	4.0	2.8	3.2	2.1	3.0	2.5
	中普 専	学校では、不安やストレスなどを感じることはありませんか。						
13	小			3.8	3.5	2.1	3.1	2.5
	中普 専	他校と比べて、本校を自慢できることがありますか。						
14	小	いじめを見たりきいたりしたことはありますか。	2.0	3.3	3.5	2.6	2.9	2.5
	中普 専	学校は、いじめがおこらないよう取り組んでいると思いますか。 学校は、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいると思いますか。						

平成28年度 寄宿舍生の学校自己評価の結果

小学部生徒(1名)		小学部	評価基準
14	寄宿舍生活は楽しいですか。	3.0	2.5
15	困った時は、寄宿舍の先生に相談できますか。	2.0	2.5
16	寄宿舍の様子を家の人やともだちに話しますか。	3.0	2.5

中学部(3名)		中普	評価基準
15	寄宿舍生活は、充実していますか。	3.0	2.5
16	寄宿舍の施設・設備は充実していますか。	3.0	2.5
17	寄宿舍の行事では、自分の力を発揮できますか。	3.3	2.5
18	何か困ったときに寄宿舍の先生に相談できますか。	3.0	2.5

普通科(4名)		普	評価基準
15	寄宿舍生活は、充実していますか。	3.3	2.5
16	寄宿舍の施設・設備は充実していますか。	3.3	2.5
17	寄宿舍の行事では、自分の力を発揮できますか。	3.8	2.5
18	何か困ったときに寄宿舍の先生に相談できますか。	2.7	2.5

専攻科(10名)		専攻科	評価基準
15	寄宿舍生活は、充実していますか。	2.5	2.5
16	寄宿舍の施設・設備は充実していますか。	2.6	2.5
17	学習できる環境にありますか。	2.8	2.5
18	何か困ったときに寄宿舍の先生に相談できますか。	2.0	2.5

保護者(小1名、中普6名)		小	中普	平均	評価基準
20	寄宿舍生活はお子さんにとり有意義なものになっていると思います	4.0	3.3	3.5	2.5
21	寄宿舍の施設・設備は充実していますか。	4.0	2.0	2.5	2.5
22	寄宿舍の行事は、お子さんにとって楽しいものになっていますか。	4.0	3.3	3.5	2.5
23	寄宿舍指導員とは話しやすい雰囲気になっていますか。	4.0	3.3	3.5	2.5

平成28年度教員の学校自己評価の結果

	NO	評価項目	小学部	2組	中学部	高等部	平均	27平均	評価基準値
I 教育目標	1	視覚障害者教育の今日的な課題と児童生徒の実態が考慮された教育目標・教育方針である。	3.5	3.1	3.3	3.3	3.3	3.2	2.5
	2	校務分掌の各係の内容・活動がよく理解され、引き継ぎも正確かつ迅速に行われている。	2.5	3.0	3.3	2.9	2.9	2.7	2.5
	3	学校行事は、児童生徒にとって、活躍の場が十分確保された有意義なものになっている。	3.0	3.3	3.6	3.2	3.3	3.1	2.5
	4	小・中・高が連携し、児童生徒の実態を的確に把握している。	2.8	3.1	3.2	2.7	2.9	2.7	2.5
	5	個々を大切にしながら継続的な指導が行われている。	3.0	3.3	3.2	3.3	3.2	3.3	2.5
II 教育課程・指導計画	6	児童生徒の実態にあった教育課程が編成されている。	3.3	3.1	3.4	3.0	3.2	3.2	2.5
	7	学習指導要領に基づき、教育目標、教育の重点をふまえて、指導計画を作成している。	3.3	3.1	3.2	3.1	3.2	3.1	2.5
	8	資料を収集・整理し、教材教具の工夫をし、有効的な活用を図っている。	3.3	2.9	3.2	3.1	3.1	3.1	2.5
	9	指導形態の工夫をして、個に応じた指導がなされている。	3.3	3.3	3.4	3.2	3.3	3.2	2.5
	10	児童生徒の興味関心を促し、自主的・自発的な活動が重視されている。	3.0	3.1	3.2	2.9	3.1	2.9	2.5
	11	それぞれの学習活動について観点別・視点ごとに定期的に評価を行い、評価結果を指導内容や方法の改善に役立てている。	3.0	3.3	3.0	3.0	3.1	3.0	2.5
	12	児童生徒の障害の状態、家庭状況が把握されている。	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.2	2.5
	13	児童生徒会活動・部活動では児童生徒が主体性をもって取り組むように指導している。	3.0	3.1	3.0	2.9	3.0	3.0	2.5
	14	道徳教育では児童生徒が命の大切さ、社会のルールやマナー、他人への思いやりを理解し実践できるよう指導している。	3.3	3.0	2.8	3.0	3.0	3.0	2.5
	15	社会奉仕体験活動や自然体験活動などの体験活動を通して、児童生徒の内面に根ざした道徳性を育成している。	2.8	3.0	3.2	2.9	3.0	3.0	2.5
16	学校の方針や教育活動について保護者等へ情報を提供し、理解・協力を得るための取り組みをしている。	3.3	3.4	3.2	3.2	3.3	3.1	2.5	
17	保護者からの意見や提案等を収集する場や機会を設けている。	3.3	3.3	3.4	3.0	3.2	3.2	2.5	
III 生徒・進路指導	18	児童生徒が自分の個性を伸ばし、学習や生活に充実感の感じられる指導がなされている。	3.3	3.3	3.0	3.1	3.2	3.2	2.5
	19	個人面談等の方法によって、積極的に児童生徒・保護者の相談に応じている。	3.3	3.4	3.2	3.3	3.3	3.4	2.5
	20	進路決定に向けて情報提供や進路相談などを通してきめこまかく指導している。	3.0	3.1	2.8	3.0	3.0	3.1	2.5
	21	児童生徒が望ましい勤労観・職業観を持つことができるよう実習体験など、個に応じた系統的な進路指導が行われている。	2.7	3.1	3.2	3.0	3.0	3.2	2.5
	22	寄宿舎との連携は密にとれている。	3.0	3.1	2.8	2.7	2.9	2.9	2.5
IV 健康・安全指導	23	学校・家庭・医療機関との連携を密にして、児童生徒の健康状態を的確に把握している。	3.5	3.3	2.8	3.2	3.2	3.3	2.5
	24	個人差・年齢差に応じた保健管理と保健教育の充実を図っている。	3.3	3.0	3.0	3.2	3.2	3.2	2.5
	25	児童生徒自らが心身の健康や障害に関心を持ち、改善・予防していく態度を身につかせている。	3.5	3.0	2.8	2.9	3.1	2.9	2.5
	26	緊急時の対応マニュアルが整備され、全職員が迅速に行動する体制ができている。	2.8	3.2	2.8	3.1	3.0	3.1	2.5
	27	児童生徒の通学路、通学方法等を把握し、状況の変化に迅速に対応できるようにしている。	3.0	3.3	3.2	3.3	3.2	3.2	2.5
V センター的役割	28	就学・教育相談に関する校内体制が整備されている。	2.8	3.0	3.4	3.3	3.1	3.2	2.5
	29	本人・保護者や地域のニーズに応じて、適切な相談活動ができている。	3.0	3.1	3.2	3.3	3.2	3.2	2.5
	30	教育相談活動についての適切な広報活動を行っている。	2.8	3.0	3.6	3.3	3.2	3.3	2.5
	31	障害者に対する理解、啓発を促進する目標を設定し、協力協働の体制づくりをしている。	3.0	3.0	3.2	3.2	3.2	3.2	2.5
	32	学校公開や視覚障害者用の教材教具の貸し出しを行い、地域社会や学校等への理解啓発をうながしている。	2.8	3.1	3.2	3.4	3.1	3.3	2.5
	33	他の学校の視覚障害児童生徒及び教員への支援活動が十分に果たされている。	3.3	3.3	3.4	3.2	3.3	3.4	2.5
	34	中途視覚障害者に対する理解、啓発及び適切な支援がなされている。	3.0	3.0	3.2	3.1	3.1	3.1	2.5
	35	障害者の福祉に関する制度を理解し、関係者に知らせたり、相談に応じている。	2.8	3.1	3.0	3.1	3.1	3.1	2.5
VI 施設・設備	36	必要な情報機器が整備され、教師や児童生徒が有効に活用している。	3.0	3.1	3.0	2.9	3.0	2.9	2.5
	37	学校図書館は利用しやすいように整理され、児童生徒への広報活動およびその空間の有効利用ができている。	3.3	3.3	3.2	3.1	3.2	2.8	2.5
	38	学校の施設設備や備品は教育活動の推進に支障がないよう整備されている。	2.8	2.9	2.6	2.8	2.8	2.7	2.5
	39	施設設備の整備、備品の購入等は、学校全体を視野に入れ、必要度や将来を見通して行われている。	3.0	3.0	3.0	2.9	3.0	2.9	2.5
VII 現職教育	40	職員の専門性を高めるための研修が計画的に行われている。	3.3	3.3	3.5	3.2	3.3	3.3	2.5
	41	自主的な研修をする時間が確保されている。	2.5	2.4	3.0	2.7	2.7	2.9	2.5
	42	研究大会や研修講座の案内があり、希望すれば参加できる。	3.0	3.0	3.5	3.1	3.2	3.0	2.5
	43	教科領域の指導に関する教材研究や授業研究など意見交換をし合い、積極的に実践的指導力の向上を図っている。	3.0	2.9	3.0	2.9	3.0	3.1	2.5

平成28年度寄宿舍指導員の学校自己評価の結果

	NO	評 価 項 目	平均値	27平均値	評価基準値
I 寄宿舍運営	1	舎生の実態が考慮され、明確でわかりやすい目標・方針になっている。	3.0	3.2	2.5
	2	各学部等の課題が明確であり、努力すべき点が具体的でわかりやすい。	3.0	3.0	2.5
	3	舎務分掌の各係の内容・活動がよく理解されており、各係の引き継ぎも、正確かつ迅速に行われている。	3.1	3.1	2.5
	4	行事の目的が目標にのっとっており、舎生・保護者や地域の人たちの理解が得られたものになっている。	2.8	3.1	2.5
	5	行事は的確な目標・計画の下で舎生の活躍の場が十分確保され、舎生にとって有意義なものになっている。	2.9	3.1	2.5
II 舎生指導	6	生徒指導の目標や方針を共通理解し、協力して舎生の指導がなされている。	3.0	3.3	2.5
	7	舎生が自分の個性を伸ばし、学習や生活に充実感の感じられる指導がなされている。	2.8	2.9	2.5
	8	舎生会活動は、舎生が主体性をもって取り組み、舎生活の向上に寄与できるものとなっている。	2.9	2.9	2.5
	9	基本的な生活習慣を身につけるよう指導されている。	3.2	3.4	2.5
	10	舎生の障害の状態や、家庭状況が把握されている。	3.1	3.1	2.5
	11	寄宿舍が舎生にとって快適な生活の場となっている。	2.6	2.7	2.5
	12	寄宿舍生活は社会で自立する力を育む一助となっている。	3.1	3.0	2.5
III 健康安全	13	学校との連携が密にとれている。	2.6	2.5	2.5
	14	学校・家庭・医療機関との連携を密にして、舎生の健康状態を的確に把握し、個人差・年齢差に応じた保健管理と保健教育の充実を図っている。	3.0	3.0	2.5
	15	舎生自らが心身の健康や障害に関心を持ち、改善・予防していく態度を身につけるよう指導されている。	2.9	2.8	2.5
IV 施設設備	16	緊急時の対応マニュアルが整備され、全職員が迅速に行動する体制ができている。	3.0	2.7	2.5
	17	寄宿舍における施設・設備は充実している。また、その保守点検は適切に行われている。	2.6	2.9	2.5
	18	施設設備の整備、備品の購入等について、必要度や将来を見通して行われている。	2.9	3.1	2.5
V 現職教育	19	必要な情報機器が整備され、職員や舎生が有効に活用している。	2.9	3.1	2.5
	20	職員の専門性を高めるための校内研修が計画的に行われている。	2.8	2.7	2.5
	21	自主的な研修をする時間が確保されている。	2.6	3.0	2.5
	22	研究大会や研修講座の案内があり、希望すれば参加できる体制がある。	2.8	2.9	2.5